

## 生活と社会 (Living and Society)

### 国際社会と環境問題 (Internationalization and Environmental Problems)

北村 修二・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 木 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目: 『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『地理学』)

**【授業の目的】** 近年, 経済成長や地域開発に伴って, 世界およびわが国で起きている環境問題を取り上げ, われわれが取り組むべき課題を考察する.

**【授業の概要】** [概要]

**【キーワード】** 今問われているもの, 私たちと国際化, 生活と環境, 地域開発と環境問題

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【到達目標】** 環境に関する基礎的な素養を, 具体的事例のなかで考えながら, 身につけさせることを課題とする. 特に国際化の進展のなかで行われている, 地域開発に伴って生じている地域環境問題を, 私たちの生活との関わりをなかで考察する能力を培う.

**【授業の計画】**

1. ガイダンス・講義の趣旨と進め方
2. 今問われているもの
3. 国際化・地球化時代
4. 国際化時代の経済および産業
5. 国際化時代の地域システム
6. 世界の環境問題
7. わが国の環境問題 (1)
8. わが国の環境問題 (2)
9. 大都市地域の環境問題
10. 企業の環境問題への取り組み
11. 地方自治体の環境問題への取り組み
12. 原子力をめぐる環境問題
13. 新たな時代の地域開発とまちづくり
14. 環境問題と私たち
15. まとめ
16. 総括

**【教科書】** 教科書は最初の授業で紹介するので入手すること.

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 講義時間内のまとめ (小まとめ (配点は 60%), 総まとめ①, ② (配点は 40%)), もしくはレポートにより評価する.

**【再試験の有無】** 無

**【講師へのメッセージ】** 受講に際して, 高校や大学等で地域開発や環境に関する科目の受講の有無は問わないが, 国際時代の地域問題や環境問題に関心があり, それらの課題を勉強する意志があり, かつそれが実行できる人は参加できる. オフィスアワー 随時.

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221095>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 北村 .

# Living and Society

## Internationalization and Environmental Problems

Shuji Kitamura · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 木 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『地理学』)

**Target** 近年、経済成長や地域開発に伴って、世界およびわが国で起きている環境問題を取り上げ、われわれが取り組むべき課題を考察する。

**Outline** 〔概要〕

**Keyword** 今問われているもの、私たちと国際化、生活と環境、地域開発と環境問題

**Fundamental Lecture** 〔先行科目〕

**Relational Lecture** 〔関連科目〕

**Goal** 環境に関する基礎的な素養を、具体的事例のなかで考えながら、身につけさせることを課題とする。特に国際化の進展のなかで行われている、地域開発に伴って生じている地域環境問題を、私たちの生活との関わりのなかで考察する能力を培う。

**Schedule**

1. ガイダンス・講義の趣旨と進め方
2. 今問われているもの
3. 国際化・地球化時代
4. 国際化時代の経済および産業
5. 国際化時代の地域システム
6. 世界の環境問題
7. わが国の環境問題 (1)
8. わが国の環境問題 (2)
9. 大都市地域の環境問題
10. 企業の環境問題への取り組み
11. 地方自治体の環境問題への取り組み
12. 原子力をめぐる環境問題
13. 新たな時代の地域開発とまちづくり
14. 環境問題と私たち
15. まとめ
16. 総括

**Textbook** 教科書は最初の授業で紹介するので入手すること。

**Reference** 〔参考資料〕

**Evaluation Criteria** 講義時間内のまとめ (小まとめ (配点は 60%), 総まとめ①, ② (配点は 40%)), もしくはレポートにより評価する。

**Re-evaluation** 無

**Message** 受講に際して、高校や大学等で地域開発や環境に関する科目の受講の有無は問わないが、国際時代の地域問題や環境問題に関心があり、それらの課題を勉強する意志があり、かつそれが実行できる人は参加できる。オフィスアワー 随時。

**Contents** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221095>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Kitamura .